



2015 June

No.515

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

地域包括ケアに向けて

～在宅患者訪問栄養食事指導の取り組み～



急速な高齢化が進むわが国では、団塊の世代が後期高齢者となる問題に対し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

当院でも在宅患者に対する訪問栄養指導を行い、地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでおりますので、ご紹介します。

【訪問栄養食事指導とは？】

通院などが困難な方のために、管理栄養士がご自宅に定期的に訪問し、療養上必要な栄養や食事の管理及び指導を行うものです。

- ★利用者の家庭を訪問し、身体の状態や生活上の問題点をよくお聞きし、安心できる食事の提案と療養生活に必要な食事環境作りを支援します。
- ★利用者や家族の意向をよくお聴きした上で、医師の指示に基づき、栄養や食事の管理に係る必要な情報提供や助言並びに食事療法に関する実施指導を30分以上行います。
- ★訪問栄養食事指導にあたっては、利用者の要介護状態の軽減もしくは悪化の防止、要介護状態になることへの予防になることを目指します。

医師が家庭で以上のような栄養や食事の管理が必要と判断した場合に利用できます。

今回は、当院通院中の外来患者のご自宅へ訪問しました。患者さん（89歳）は奥さん（93歳）と2人暮らし。今年5月初旬に入院し退院前に栄養指導を行うも、退院後むくみなどの症状が出現しているとの情報がありました。当日は、人吉市居住の娘さんを交え、実際どのような食事を摂っているか、間食の内容、また料理を盛る器のサイズを確認し、現在の状況に適した食事の提案を行い調味料の計り方を指導しました。奥さんは高齢ながら受け答えが良く、隣で娘さんの援助もあり食事療法に積極的に取り組んでいる様子がうかがえました。

2回目は、昼食前に訪問し副食の確認や計量スプーンでの量り方指導、低蛋白食品サンプルを使用した場合の栄養量の比較指導など行いました。

当院に受診中の方で訪問栄養指導をご希望の方がおられましたらお気軽にお尋ね下さい。

管理栄養室 室長 大岩 洋子

PET-CT 検診のご案内

PET-CT の特徴

- 早期発見** 見つけにくいとされた小さながんの早期発見が可能です。
- 全身を診る** 一回の検査で全身の状態を診ることができます。
- 良性・悪性の識別** 検査で得られた画像で良性・悪性の識別ができます。
- 疲れない** 薬剤注入の注射をした後は、安静にしているだけで楽に検査できます。
- 病巣部の位置を確定** PET データと CT データとの融合により、病巣部の位置をより正確かつ迅速に確定できます。

《受診できないかた》

- ・妊娠中もしくは妊娠の可能性があるかた
- ・極度の閉所恐怖症のかた
- ・空腹時血糖が 200mg/dl 以上のかた

《相談が必要なかた》

- ・糖尿病のかた
- ・空腹時血糖が 150mg/dl 以上のかた

《キャンセル料金について》

- ・キャンセル料金が発生しますのでご注意ください。
- ・前日の昼 12 時までにご連絡をいただいた場合キャンセル料は不要ですが、以後のキャンセルについては、使用する薬剤のキャンセルが出来ませんので、薬剤代として 4 万円をお支払いいただきます。

PET-CT 検診料金

90,000円 + 消費税 (H27 年 5 月～個人申込み価格)

《お問い合わせ・お申込み》 予防医療センター TEL 0966-22-7070

予防医療センター 日當 幸治

リレー・フォー・ライフ・ ジャパン2015くまもと に参加しました

5月16日(土)から17日(日)にかけて熊本市の白川公園で開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015くまもと」に講話者として参加してきました。

「リレー・フォー・ライフ」(RFL)とは、がん患者や家族、その支援者が交代でタスキをつなぎながら24時間交代で歩き、地域全体でがん向き合い、がん制圧へ向けた絆を深め合うためのイベントです。がん闘うチャリティ活動でもあり、寄付金は日本対がん協会を通じて患者の支援活動に使われています。この活動は、1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、「がん患者は24時間、がん闘っている」という想いを共有し支援するため寄付を募ったのが始まりで、今では世界20か国以上、全米約5,500か所、日本では全国43か所で開催されています。

熊本は2011年の開催から今年で5回目。熊本県や熊本市、検診機関、がんサロンネットワーク熊本、各患者団体、医療機関、健康保険協会、私の所属するがん診療連携協議会相談支援・情報連携部会が専門相談員ワーキンググループなどがチームを組んでリレーウォークに参加したり、がん啓発ブースを設置して相談に応じたり、グッズ販売やバルーンアートなどの催しで交流を図りました。サバイバー(がん患者・がん経験者)や医師などがステージで語り合う「サバイバーズトーク」では、前立腺全摘術後の方の「自分が男ではなくなるみたいで苦しかった」というような切実で強いメッセージがたくさん聞かれました。夕暮れになると、県全域から集められたルミナリエが点灯され、ウォーキングコースを温かく照らします。ルミナリエとは、みんなの思いを書いた紙



の灯籠。幻想的な雰囲気の中で、がん患者である父親へ宛てた「負けないで」というイラスト入りメッセージなどは、とても印象に残るものでした。

講話は、熊本地域医療センター内科医長・中原和之先生が「サイコオンコロジーについて」、私からは「がん相談支援センターの使い方」、そして熊本第一病院副院長・松野文彦先生からは日常生活に潜む血液について「血液疾患ア・ラ・カ・ル・ト」と題して行われました。私はがん相談支援センターを身近に感じて頂けるように「地域の相談窓口としてのがん難民をなくす取り組み、患者・家族が適切な治療や療養環境に継続してアクセスするための支援」などにつきお話をさせて頂きました。

前日まで雨が降り、開催も心配されていましたが、多くのサバイバーやケアギバー(家族・支援者)、一般の方々の参加を得ることができました。参加者全員が命の大切さや生きることの素晴らしさを実感でき、互いに元気と勇気を与え合い、その触れ合いが、がんに立ち向かう、または付き合っていく為の大きな力となっていく瞬間を感じることができました。皆が一緒になって、がんを負けない社会をつくるのが大切だと実感する2日間となりました。是非、皆さんも来年は人吉医療センターのチームとして参加してみたいかがでしょうか？

相談支援センター 社会福祉士 南 秀明

平成 26 年度救急外来統計報告

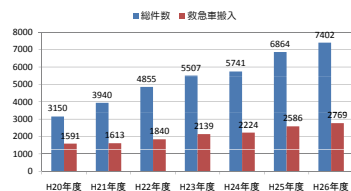
当院は鹿児島、宮崎の県境に位置し、人吉球磨、えびの、小林、伊佐地区における急性期病院として地域の救急医療を担っています。

平成 26 年度に当院の救急外来を受診した患者数は 7402 名、救急車の搬入件数は 2769 件でした。救急患者数は年々増加傾向にあり、5 年間で約 2 倍の増加を認めています。救急車搬入件数も 1000 件を越える増加があつています。また当院から更に、熊本市内などの高次医療機関へ転送した患者数は 91 件ありました。搬入、転院搬送それぞれの手段別件数は、搬入では自家用車やタクシーなどによる搬入が 4633 件 63%、行政救急車が 2450 件 33%、病院

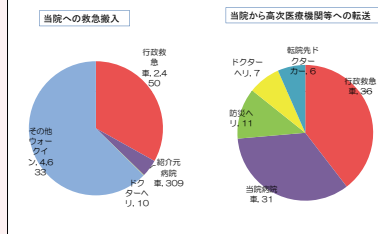
車が 309 件 4%。ドクターヘリが 10 件 0.1%でした。転院搬送では行政救急車によるものが 36 件、当院救急車 31 件、ヘリが 18 件、転院先のドクターカーが 6 件でした。ヘリによる搬入、搬送の疾患を見てみると搬入ではほとんどが外傷であり、また転院搬送では、緊急で手術が必要な急性大動脈解離や心筋梗塞などの循環器疾患が多く、次いで産科、小児、外傷、呼吸器系の疾患でした。平成 25 年 5 月にヘリポートが完成したことにより直接病院ヘリポートに離着陸可能となり、患者搬送時間の短縮へ繋げることができました。今後も救急体制の充実を図り、地域住民の皆様が安心して生活できるような医療の提供に努めていきます。

医事課病歴係 川内 広美

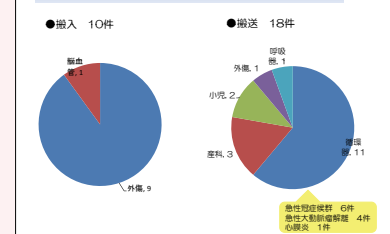
救急外来患者数の年次推移



救急搬入/転送 手段別件数



ヘリ搬入・搬送疾患系列別



熊本大学医学部 特別臨床実習

今回、人吉医療センターで5日間実習をさせていただきました。実習では、病院の外来や病棟以外にも、診療所や訪問看護にも付いて行かせて頂き、この病院がどのように地域包括医療を行っているのかを学び、自分の今後の学習方針や働き方を考える上でも、大変参考になりました。

例えば、患者さんは救急も外来・入院も高齢の方が圧倒的に多く、疾患も心筋梗塞・イレウス・骨折等が多いと感じました。外来では殆どの方が降圧薬を服用、膝・肩・腰痛や糖尿病の方も多く感じました。これからの高齢化社会では、このような疾患の重複した患者さんをより多く診ることになると思います。自分は内科医になるつもりですが、整形領域の知識がなければ高齢者は診ることが出来ないと痛感しました。

今回、人吉医療センターで臨床実習を希望した理由は、地域の拠点病院ではこういった医療が行われているのか体感したかったからです。と言いますのも、1月に小児科クリニックで熊本市内の拠点病院にて実習させて頂いた際に、大学病院だけで学んでいては気が付かないこと、体感できないことが非常に多いことに気付いたからです。とにかくいろいろな場面に身を置いて、対象としている地域と地域性、疾患と治療、設備の違いや先生方の対応などをこの実習を通じて感じ、地域における拠点病院の役割を学生の間に学んでおきたいという思いがありました。

人吉医療センター産婦人科では、婦人科腫瘍とハイリスク妊娠を対象とした周産期医療を中心に、産婦人科全般を広く診察されていて、対象となる地域は人吉にとどまらず、

外来では、リンパ浮腫外来が印象的でした。術後のリンパ浮腫でとても太くなってしまった脚、そして治療を見せて頂きました。今まで着目したことが無かった事で、実際に困っている方がいる事も知りませんでした。リンパ浮腫について学ぶことができ、本当にためになりました。

また、人吉に来て素敵だと思ったことは、職員の皆さんも患者さん方も、皆さんが笑顔で挨拶をされることです。熊本市内では人によって違うので、挨拶するかどうか迷うのですが、人吉では誰にでも挨拶をする癖がつかえました。

先生方には、毎晩外でご飯をご馳走して頂き、医療に関することから他愛のない世間話まで、たくさんお話をして下さいました。また、毎晩温泉にも入りました。とても過ごしやすく、至福の5日間でした。

熊本大学医学部 6年 久保崎 順子

南九州県境地域を広範囲にカバーしていることを知りました。今回の実習で一番印象に残っていることは、人吉医療センター産婦人科では、高度な手術が可能で、また、病理診断や放射線治療も行うことができるため、悪性腫瘍に対して診断から治療まで人吉医療センターで一貫して行えるということです。一部の放射線治療を除いて、大学病院で行われている医療とほぼ同様の高度な医療が人吉医療センターのみで可能だということを実感しました。

先生方からは本当に貴重なお話を伺って、人吉という地域の人・自然・温泉、そういった魅力も感じつつ、有意義な時間となりました。心より御礼申し上げます。

熊本大学医学部医学科 6年 北村 泰斗

マネジメント学会 in 大阪

平成 27 年 6 月 12 日（金）～ 13 日（土）、第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会が大阪にて開催されました。「医療における不易流行－変わらないもの、変わるもの－」をメインテーマに指定講演、シンポジウム 12 題、一般講演 1,025 題（口演 712 題、ポスター 313 題）、クリティカルパス展示 15 題と 4,800 人を超える参加がありました。当院からは 5 名が一般口演の部で参加しました。

私は初めての学会発表で全国大会ということもあり緊張していましたが、発表前夜に大阪名物「串カツ」を食べ 5 名で気合を入れて発表に望むことができました。

この学会は医師、看護師、メディカルスタッフ、事務等各職種が参加し、発表内容は病院経営、地域連携、看護業務、医療の質、医療安全など多岐に渡っていました。私は「急性期病院における漢方使用の有用性」という演題で発表させて頂きました。

また、薬剤師に関するシンポジウムでは「薬剤師の病棟常駐による成果と

展望」というテーマで医師、看護師、薬剤師、一般の方からの発表があり、薬剤師が病棟にいることでリアルタイムに薬の効果や副作用発現の有無を確認でき、他職種とのコミュニケーションもとりやすくなりインシデント発生が少なくなったという意見がありました。また、ICU や救急外来に薬剤師を専任で配置している病院があり、救急の場面で薬剤の提案を行っているという発表がとても印象に残りました。当院では薬剤師が不足しているため病棟のみ専任薬剤師を置いています、今後は救急外来での業務も行っていきたいと思いました。

今回、学会発表の機会を頂いてスライド作成や発表の構成、聞き手への伝え方、他の病院での他職種の取り組みなど様々なことを学ぶことが出来ました。

今年の 11 月に人吉にて医療マネジメント学会第 14 回九州・山口連合大会が開催されます。全国大会と同様、活発な意見や発表が行えるよう全職員一丸となって取り組んでいきたいと思いました。

薬剤科 薬剤師 吉松 洋子



就業前実習を終えて

はじめに、今回 20 日間の就業前実習では、業務多忙中、各科の先生方、看護師の方々をはじめ、医療スタッフの方々には、親切丁寧、熱心なご指導を頂き、深く感謝申し上げます。

救急外来、ICUでの実習目標は、救急救命士として現場で必要な手技の習得、フィジカルアセスメント力の向上にありました。手技の中でも、静脈路確保については、実際に患者さんの生体に触れ、血管の感触、穿刺時の感覚をつかむことに重点を置き取り組みました。とても短期間の実習だけでマスターできるものではなく熟練が必要で、経験を重ね身に付いていくものと実感しました。失敗もなぜ、そうなったのかを理解し反省し、次に活かすために、日々の反復訓練を怠らず磨き上げていかなければと感じました。また、画像検査や採血など、各種検査に

同行させて頂き、診断に結びつく検査所見の重要性を実感しました。また、私達救急隊からの連絡によって、搬入後の検査や処置の流れを左右することがわかり、改めて病院連絡の重要性、求められる情報は何か、状況・状態を的確に伝える努力をしていかなければと感じました。

各病棟の実習では、清拭、体位変換、声掛け等のナースングケアについて学び、オペ室の実習では、解剖のイメージを膨らませることができました。医学的知識はもちろん、様々な患者さんに対応される看護師業務の難しさ大変さを痛感しました。

実習を通して様々な医学的知識の習得、手技の経験をさせて頂きましたが、何よりスタッフの皆様と顔の見える関係を築けたことが、私の救急人生の大きな財産となりました。これから、一医療人として、全ては患者さんのために努力を惜しまず、日々精進して参りたいと思います。有難うございました。

人吉下球磨消防組合 中央消防署 救急課 福田 裕一

平成 28 年度 初期・後期臨床研修医 募集 !!

基幹型初期臨床研修医の定員が 5 名になりました！

詳しくは、<http://hitoyoshi.jcho.go.jp> をご覧ください

書籍紹介



沈みゆく大国アメリカ〈逃げ切れ！日本の医療〉

著：堤 未果実 / 集英社（新書）

リーマンショック以降、ますます巨大化するウォール街と多国籍企業群の最強タッグ。彼らが次に狙うのは、一〇〇兆円規模の日本の医療・介護ビジネスだ。世界が絶賛する“国民皆保険”に私たちが無関心でいるすきに、他国を次々に食い物にしてきた強欲資本主義の魔の手がじわじわとびる。急速に高齢化する日本は、世界規模のマネーゲームから逃げ切ることができるのか？



帰してはいけない小児外来患者

編集：崎山 弘・本田 雅敬 / 医学書院

小児科医の診断過程をのぞいて確定診断へのプロセスを学ぼう！

外来受診する子ども（～ 16 歳）のうち、帰してはいけない患者は誰なのか。発熱、腹痛、食欲不振、嘔吐…、よくある症状の中に潜む、まれだが重篤な疾患を見逃さないためにはどうするのか、いかにしてミスを防ぐか、に迫る。

登録後、職員図書室に保管します。

高気圧酸素療法実績報告

高気圧酸素治療装置が導入され3年目に入りました。そこで、これまでの実績を報告致します。

	H25年度	H26年度
症例数	42 症例	55 症例
施行数	336 回	416 回
救急的 5000 点	88 回	87 回
非救急 200 点	248 回	329 回

疾患名	平成 25 年度 (人)	平成 26 年度 (人)
突発性難聴	15	25
腸閉塞	9	11
急性末梢循環障害	4	2
難治性潰瘍を伴う末梢循環障害	4	8
壊死性・壊疽性筋膜炎・ガス壊疽	2	4
骨髓炎	5	1
コンパートメント症候群		1
適応外	3	3

2年間で特に突発性難聴 40 名と腸閉塞（麻痺性・癒着性）20 名と多く利用されました。

高気圧酸素療法は、必ずしも入院が必要ではなく、症状に応じて外来治療にも対応いたします。

何かお尋ね等ございましたら臨床工学室 上村（内線 780）までご連絡下さい。
院外の医療機関様からの高気圧酸素療法治療依頼に関しましては、予約センターへご連絡下さい。

臨床工学技士長 上村 慎作

予約センター TEL：0966（22）1900 / 0966（22）7878

星に願いを

今年もささやかながら、2F 外来に七夕飾りを設置いたしました。

早速、「ビールを美味しく呑みたい」という大人の願いを書いた短冊が飾られていましたが、きっとその願いは星に届くはずです。

小さな七夕飾りですが、まだまだ願い事を受け付ける枝も、短冊の用意も十分にあります。小さな願いから大きな願いまで、ご自由に思い思いに短冊に託してみてください。



登録医紹介



医療法人
平井整形外科
リハビリテーションクリニック

院長 平井 奉國

住所：人吉市下城本町 1422-1
TEL 0966-24-8213

【診療時間】 月～金、8:30～12:00
月～金、14:00～17:30
(火曜のみ 19:30)
土、8:30～12:30

【診療科目】 整形外科、リハビリテーション科、
ペインクリニック、内科、
リウマチ科

【休診日】 日曜・祝日

【院長からのひと言】

おかげさまで開業より丸 35 年を迎えることが出来ました。
今後も医療センターと連携を取りながら地域に貢献できる医院を目指して参ります。

人吉・球磨 再発見

人吉球磨地域ではだいたい 5 月半ばから 6 月半ばまで蛍の飛び交う姿を見ることができます。綺麗な水があるところであれば、かなりの確率で蛍を目にすることができますし、幻想的なまでに蛍が乱舞する有名スポットも数か所あります。

梅雨に入り、今年も私たちを楽しませてくれた蛍も来年までしばしのお別れですが、今度は鮎の解禁に突入します。若鮎のスイカのような瑞々しい薫りを好む人、身の詰まった落ち鮎を好む人と好みは様々に分かれると思いますが、いずれにしても一瞬一瞬の時期にしか出会えない旬のものです。

また、鮎が終われば、紅葉、ボタン鍋、こたつ船と人吉球磨には季節の移ろいを感じながら楽しむことができる事が数多くあります。観光や仕事で人吉球磨を訪れた人はもちろん、地元の間もその魅力を再発見できれば！！と思います。

医療福祉連携室 岡本 理恵

日本医療マネジメント学会第 14 回九州・山口連合大会
～演題募集及び宿泊申し込み受付開始のご案内～

【演題募集】

テーマ：次代につなぐコミュニティヘルスケア
～今、われわれは地域のために何をすべきか～
日時：2015 年 11 月 20 日（金）～21 日（土）
場所：人吉市カルチャーパレス・人吉スポーツパレス
(熊本県人吉市下城本町 1578-1)

演題登録：2015 年 4 月 1 日（水）～7 月 31 日（金）
事前参加登録：2015 年 4 月 1 日（水）～9 月 30 日（水）
参加登録費：一般（事前）¥5,000（当日）¥7,000
学生（事前・当日）¥2,000

オンライン登録・詳細：<http://jhm14kyusyu.umin.jp/>

【宿泊申し込み】

人吉は九州屈指の湯処です。今回は学会ご参加の皆様にも名湯が楽しめる宿泊先をご案内しております。

宿泊申し込み受付期間 2015 年 5 月 21 日（木）正午～9 月 30 日（水）まで

詳細については、学会ホームページをご覧ください

http://higo.ne.jp/jhm14kyusyu_stay/

お問合せ先：人吉医療センター 総務企画課
学会担当 高田 麻紀（0966-22-2191 代）

エコ活動にご協力ください！ーくまもと夏のライトダウン+ (プラス) 2015

日ごろよりエコ活動、地球温暖化対策にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

「熊本らしいエコライフ」とは、くまもとの県民性（もっこす、わさもん等）を活かしながら※、くまもとの気候や風土、習慣などに合わせて、県民それぞれが続けられるライフスタイルを選び、生活に取り入れ、県民総ぐるみで環境を大切に暮らすことです。

この取り組みは、家庭の電気を消すことでライトアップに慣れた国民一人ひとりに対して日ごろいかに照明をしようしているかを実感していただき日常生活の中で温暖化防止、省エネを実感する動悸づけを与えていくことを目的とされています。



※もっこす：昔ながらの知恵や技を生かす／わさもん：最新の技術を取り入れる
当院でも7月7日（火）七夕

の日に、午後8時～午後10時まで業務に支障のない範囲でのライトダウンを実施いたします。このキャンペーン参加を機会に、エコライフに心がけていただけたらと思います。御協力よろしくお願いいたします。

『エコキャップ～世界の子どもにワクチンを～』

当院では、平成22年よりエコキャップ回収を通じてワクチン募金を行っています。

これまでの回収個数は以下の通りです。

平成22年～平成27年6月16日現在

累計受領個数 355,764 個

累計キャップをワクチンに換算すると、ポリオワクチンの場合425.3人分、BCGの場合1,215.1人分

キャップは、病院フェスティバル時にも回収活動を行っています。こちらも合わせて御協力よろしくお願いいたします。

エイド部 深江 文代

新 任 紹 介



高田 真希（7階病棟・看護師）

最終卒業校：熊本市医師会看護専門学校

趣味：音楽

自分のコマーシャル：1年間地元を離れていましたが、戻ってきました。またこれからよろしくお願いします。



木場 明（8階病棟・看護師）

最終卒業校：玉名女子高等学校

趣味：ピアノを弾くこと

嬉しかったこと：娘が元気に産まれてきてくれたこと

自分の性格：慎重でマイペース

自分のコマーシャル：早く仕事に慣れるよう頑張ります。

どうぞよろしくお願いします。



福園 亮平（画像診断センター・診療放射線技師）

最終卒業校：鹿児島医療技術専門学校

趣味：テニス

好きな言葉：喜怒哀楽

短所：方向音痴

自分のコマーシャル：一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



鎌本 光則（経理課・技能員）

最終卒業校：球磨工業高校機械科

趣味：囲碁、山野草

モットー：健康第一

苦手な事：カラオケ

長所：思いやり 短所：やや気が短い

自分のコマーシャル：ボケ防止のため、意欲満々で取り組みたいです。



尾崎 佳代（クラーク）

最終卒業校：岡山県作陽高等学校

モットー：いつも笑顔と感謝の言葉を忘れずに！

性格：マイペース

長所：明るく元気 短所：優柔不断

自分のコマーシャル：何事にも一生懸命頑張りますので、宜しくお願いします。



池田 奈津希（クラーク）

最終卒業校：福岡ベルエポック美容専門学校

趣味：音楽鑑賞、カラオケ

モットー：明るく、元気よく、何事も楽しむこと！

嬉しかったこと：去年9月に息子に出会えたこと

好きな言葉：ありがとう、感謝

長所：元気の良さと笑顔！明るいね！とよく言われます。負けず嫌い。

短所：物事を深く考えすぎる所

自分のコマーシャル：明るく、元気よく、一生懸命頑張ります！よろしくお願いします！

6月の勉強会報告

6月17日(水)救急カンファレンス

・「ドクターヘリ要請症例(交通外傷)」

人吉下球磨消防組合 中央消防署 東分署

岩本 正弘さん

・「ドクターヘリ要請症例(労災事故)」

人吉下球磨消防組合 中央消防署 消防第2課 救急隊

高田 典明さん

・講演 熊本赤十字病院 第一救急科 田代 尊久先生

6月のフレッシュマンセミナー報告

6/ 4 平野美穂「釜蓋神社について」

6/11 和田彩未「EXILEについて」

6/18 亀澤美奈「湧水町について」